

ふなかわら

第20号

2008年6月20日発行
編集・発行 石井甲一〒278-8510
千葉県野田市山崎2641
東京理科大学薬学部内

印刷・菅原印刷株



CONTENTS

1. 同窓会副会長挨拶（安達 順一）	2	11. 同窓会だより	14
2. 薬学科主任挨拶（田沼 靖一）	3	神戸での地区交流会	14
3. 平成20年度同窓会総会および講演会について	3	14期の皆様へ	14
4. 平成20年度「実践社会薬学」の開講	4	16期同期会のお知らせ	14
5. 実践社会薬学講座案内	4	友あり遠方より来る（伊藤 充朗・昭子）	15
6. 東京理科大学薬学部の近況（小茂田昌代）	6	12. 平成19年度同窓会通常総会および講演会について	16
7. トピック	7	13. 会計報告	16
最近の薬剤師を巡る動向（小林 寧）	7	14. 氏名・住所・異動等変更届	17
8. 卒業生報告	9	15. 2007年度会費納入状況報告	19
「明野友愛農場」奮闘記（中村 洋司）	9	16. 会費・寄付納入者一覧	20
東京マラソン2008完走記（岩崎 修）	11	17. 終身会員一覧	20
9. 新任の挨拶（土谷 隆紀）	13	18. 計報	23
10. 久保寺先生を偲んで（岡宮 智子）	13	19. 同窓会幹事一覧	24
		20. 編集後記	24

実践社会薬学に思うこと

東京理科大学同窓会副会長 安達 順一

今年（2008年）でこの授業が開始されてはや13年目となりました。私も立ち上げのころから参加をさせていただきその変遷を見てまいりましたが、年々その評価も高まり、いつの間にかこの実践社会薬学が東京理科大学薬学部の授業として定着するにいたりました。参加してくれる講師の方々も多方面からの紹介が増え、内容も非常に充実したものになりました。毎年講義の内容と講師の決定には時間と手間がかかり幹事の方々や講師の方々には、仕事の合間をぬって準備をしていただき、かつ後半は野田にまで交通費のみで来ていただきこの講義は維持されて参りました。幹事や講師の卒業生が後輩のためにボランティアで担当をしていただいたおかげと感謝をしております。

ただし昨年からは薬学部6年生が始まり、実践社会薬学の対象も6年制の生徒のみとなり、一昨年までの受講者約100名から昨年は35名程度となり授業の内容の変更が必要ではないかと気づかされただいです。現在までの実践社会薬学は主に開業薬局、病院薬剤師、製薬企業の職業、そして医療行政の四本柱で構成されてまいりました。

ただ今後は6年生のみが対象と大学が決めたということでその内容と構成は変更が必要と思われます。

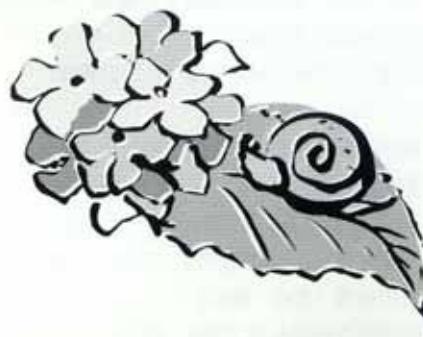
私どもがこの授業を推薦してきた背景には、薬学部の学生が今後の進路を決めたり、どのような勉強が今後実践で役立つかなど、実際に仕事をしている先輩方から現場の生の話を聞けることは勉強をしてゆく上でとても参考になるのではないかということでした。それと言うのも学生の時にはなかなか現場でどのような仕事がなされていて、どのような知識が実際役立つかなどの生

きた情報を得る機会がなかなか無かったことがありました。しかし近年はインターネットなどの発達や、メディアなどの多様性もあり、かなりの情報を学生も得られるようになってきています。さらにはこれから企業に就職をしようと考えている4年制の学生がこの授業の対象者で無くなった昨年からは、企業の講義の内容は大幅な変更が必要で、その量も最小限で良いことになったのではないかと感じただいです。6年制の生徒は基本的には薬剤師を目指す方々ですので、薬剤師の分野を手厚くし、企業の部分については大きな流れの情報があれば良いのかもしれませんし、また授業の形態も現状の形が良いのかは検討が必要であろうと思います。

従って今までの実践社会薬学の役割は一昨年で第一期の役割を終え、今後はこの6年制導入にあわせ、実践社会薬学の担当幹事の方も若手を中心としたメンバーで、その内容や授業形態が現状のニーズに合致したものになるよう見直し作業が進められると思います。そのためには4年制と6年生の学生のニーズの違いを知り、この授業の東京理科大学薬学部における位置づけを改めて明確にすることが不可欠と思われます。そのためには今後同窓会幹事と薬学部との話し合いを含めた見直し作業も必要と思われます。

引き続き有意義な実践社会薬学を維持してゆくためには、皆様方の益々のご指導とご協力が必要となりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

因みにこの実践社会薬学は卒業生にもとても参考になる内容ですので、時間のある方は一度覗いてみては如何でしょうか。興味のある方は同窓会事務局やインターネットでチェックしてみてください。



薬学科主任挨拶

東京理科大学薬学部生命薬学系 田沼 靖一

同窓会の皆さん、私は大島学部長のもとに薬学科の学科主任をしています。宜しくお願ひ申し上げます。私が東京理科大学薬学部に赴任して、早いもので17年目になります。昭和50年に薬学部を卒業した私がまさか母校に戻って教鞭をとるようになるとは夢にも思いませんでした。

薬学部は、今は野田キャンパスに移転していますが、当時は新宿区の船河原町にありました。旧薬学校舎の跡地には新5号館が建ち、理学部、工学部の化学系が入っています。しかし、まわりのお店や建物はほとんど昔のままで、当時のことが思い出される風景がそこには残っています。

神楽坂に会議などで行った時にふと立ち寄ってみると、懐かしさと同時に少しだけ哀しみがそっと寄りそってきます。この風景には、今はいない先生方や懐かしい級友たちが過ぎ去った愛しい遠い時間とともに蘇ります。この変哲もない風景が美しく思えるのは、そこに決

して変わらないものがあるからなのでしょう。

さて、薬学部は平成18年度から、これまでの4年制の薬学科と製薬学科を、6年制の薬学科（定員80名）と4年制の生命創薬科学科（定員100名）として新たにスタートしました。薬学科では、高度化する医療に対して研究心のある優れた薬剤師（医療人）を主に育成することを目標としています。一方、生命創薬科学科は、薬学・生命科学の最先端の知識と技術的基礎を身に付けた創薬研究者・技術者（創薬人）を輩出することを目指しています。

私はこの2つの学科が巴の模様のようにがっちりと組み合って、お互いにを目指す道を理解して、学生の時代から交友を育むことが将来、社会に出たあとで大変大事な財産になると思っています。このような教育・研究の理念を持って、これから薬学界を担う優れた人材を輩出したいと考えています。これからも変わらぬご支援を宜しくお願ひ申し上げます。



平成20年度東京理科大学薬学部同窓会総会および講演会のご案内

本年度の同窓会総会および講演会を下記にて開催いたします。

■日 時：平成20年7月26日(土)

■場 所：インテリジェントロビー「ルコ」（軽子坂MNビル）
東京都新宿区揚場町2-1 軽子坂MNビル1F

■次 第：14:00～15:00 同窓会総会

15:00～17:00 特別講演会

「ヘルスヴィジランス：薬剤師が看視する住民の健康」

林謙先生（国立医薬品食品衛生研究所 医薬安全科学部 第4室 室長：14期）

17:30～19:30 懇親会

■会 費

平成20年度同窓会費未納の方のみ、年会費2,000円を徴収させていただきます。

懇親会 5,000円

平成20年度「実践社会薬学」の開講

「実践社会薬学」も13年目を迎え、本年度は5月17日よりスタートしました。スケジュールは以下の通りです。講師としてご協力いただけた卒業生も増え、今年は、だいぶ新しい顔ぶれとなりました。

6月28日の最終日には懇親会が予定されており、担当の行政の担当者だけではなく、企業、薬局、病院の

担当者にも参加していただく予定です。諸先輩の社会での経験は、学生にとって貴重な情報となります。講師以外の同窓生の出席もお待ちしております。なお、同窓生は講義の見学ができますので、懐かしい友人の名前を見つけた人は、是非、足をお運びください。

実践社会薬学講座案内

日	時間	講師名	所属	期	タイトル	内 容
導入	13:00～13:25	石井 甲一	日本薬剤師会	11	挨拶（実践社会薬学と同窓会について） 実践社会薬学オリエンテーション	
5月17日	13:25～14:30	田口 伸行 成田 智子 中西 国彦 吉田 雅人 若松 正克	アステラス製薬 新日本科学 シミック クロノバ 新日本科学	39 44 27 21 26	薬の誕生、臨床へのステップ、そしてその後…（前編）	薬は、その素となる化合物が研究所で生まれ、非臨床試験、臨床試験を経て規制当局で承認されてから販売されます。その薬の半生を寸劇で、解説を交えながら紹介します。
	14:40～15:50	田口 伸行 成田 智子 中西 国彦 吉田 雅人 若松 正克	同上	39 44 27 21 26	薬の誕生、臨床へのステップ、そしてその後…（後編）	上記の後編です。
	15:50～16:10				Q&A	
企業	13:00～13:45	若松 正克	新日本科学	26	(開発) 医薬品開発担当者（モニター）といふお仕事－臨床試験に係る情報交換の主役－	新医薬品を速やかに上市し、疾病に苦しむ人々の医療に貢献するという業務があります。新薬開発や既承認薬の適応拡大などに大きく携わる医薬品開発担当者（モニター）の業務内容について紹介いたします。
5月24日	13:45～14:30	田口 伸行	アステラス製薬	39	(営業) MR（医薬情報担当者）のここですか聞けない本音話	MR（医薬情報担当者）の一日常「嬉しかったこと」「辛かったこと」に加え、あまり大きな声で言えないような裏話を紹介します。
	14:40～15:25	昌子久仁子	テルモ	14	(医療機器・薬事) 身近なところにも医療機器ってあるんだよ	機器というと堅苦しい響きがありますが、例えば、身近なところでは“体温計”、そして“心臓カテーテル”も医療機器なんです。医薬品あるいは医療機器の申請業務の話を交えて紹介します。
	15:25～16:10	中村 宏	ディーエイチシー	23	(一般薬・サブリメント) 身近なクスリ・大衆薬とは	皆さんがTVCMでおなじみのOTC医薬品やサプリメントは、どのように開発され、市場にだされていくのか、またOTCメーカーでの薬剤師の仕事は？などについて、医療用医薬品とは一味違ったOTC医薬品の姿をご紹介します
薬局	13:00～13:45	水 八寿裕	アボプラスティーション		薬局ソト話－あなただけにソフト教えます	薬局にこもっているだけが薬局薬剤師の仕事ではありません。薬局の外にもたくさん活躍する場があります。授業を聞いたあなたにだけこっそりと教えます。
5月31日	13:45～14:30	坂田 千佳	ファーミック薬局	41	保険薬局って、超クール!!	保険薬局は単にくすりを揃えて、「お大事に」と言っているところではない。薬局の機能や薬剤師業務全般について解説します。
	14:40～15:25	畠中 典子	かくの木薬局	14	凄いぞ！ 在宅医療	在宅医療で活躍する薬剤師から、在宅における薬剤師の役割、業務を、分かり易く解説します。
	15:25～16:10	熊井 佳子	風祭薬局	23	起業家集まれ！ 薬局開設の極意	薬剤師の唯一の独立の場、薬局を開設するには、どうしたら良いのか？地域に信頼される薬剤師となつて、地域医療に貢献する薬剤師、薬局の全てをお話します。

薬局	6月7日	13:00～13:45	小林 千文	八王子薬剤センター	40	これが目に入らぬか!! 患者の分身!おくすり手帳	どんな時でも、安全にくすりを飲んでもらう。この目的のために「おくすり手帳」があります。手帳を使った様々な情報管理から、薬局における薬歴管理までわかり易く解説します。
		13:45～14:30	中井 用子	カワチ薬品	38	薬剤師存亡の危機 セルフメディケーション	法律の改正で、薬剤師以外の資格でくすりを販売することができてしまいます。薬剤師の存亡をかけた戦いがドラッグストアでは繰り広げられています。
		休憩					
		14:40～15:25	遠藤咲智子	日生薬局	39	桃太郎のくすり下さい!	医療制度維持、医療費抑制のための重要な課題として後発品使用促進があります。後発品はどのような背景から作られ、使用されているのか、最新情報を織り交ぜながら解説します。
		15:25～16:10	今間 友佳	てんだい薬局	43	新人薬剤師のお仕事	薬局勤務の新人薬剤師の一日を紹介します。
病院	6月14日	13:00～13:45	徳田百合子	東和病院	42	病院薬剤師のお仕事	病院薬剤師はどのような仕事をしているのでしょうか? 病院薬剤師の仕事の全貌をお話します。
		13:45～14:30	柳父 香澄	聖路加国際病院	41	注射薬の調剤とは?	調剤というと内服薬や外用薬を思い浮かべますが、注射薬の調剤も重要な仕事です。内服薬の調剤との違いなどを分かりやすくお話します。
		休憩					
		14:40～15:25	小高 賢一	成育医療センター	13	目指そう薬剤部長!	病院では、様々な部署の一つとして、薬剤部があります。その長である薬剤部長。薬の採用、事故の防止などの仕事を担っています。普段ではなかなか聞けない病院の裏話を飛び出します。
		15:25～16:10	高橋 鮎子	川崎社会保険病院	42	新人病院薬剤師の反省?!	憧れでやっと就いた病院薬剤師の仕事。理想と現実、苦労、やりがいなど、いろんなことを感じて仕事をしています。そんな仕事の全てを新人の視点で率直にお話をします。
行政	6月21日	13:00～13:45	岡田 翠佳	東京病院	40	病院内のクスリGメン、薬剤師の病棟業務	入院している患者さんに薬剤師が接する仕事して病棟業務があります。教科書には「薬剤管理指導業務」と難しく書いてありますが、薬によって生じる問題点を患者さん個々に対して解決し、治療を最も有効にする仕事です。薬剤師は病院内のクスリGメンです。
		13:45～14:30	山本 佳代	千葉県救急医療センター	41	薬剤師も救急医療に進出!	薬剤師が救急医療に参加する時代がやってきました。救急医療の現場で薬剤師は何ができるのでしょうか? 救急医療にかける薬剤師の活躍を紹介します。
		休憩					
		14:40～15:25	小島 昌徳	横浜市立市民病院	34	がん医療に関わる薬剤師	がん対策基本法が施行され重要視されているがん医療。抗がん剤治療、緩和医療について、薬剤師の立場から実際の現場でのお話をします。
		15:25～16:10	梅野 友子 西野さや 杉野由香里 水井 弓子 折山 豊仁 箕輪 直美 阿部久美子 荒井ちさと		41 41 43 43 43 44 44 44	若手薬剤師を聞んで「薬剤師になったおもしろさ」Q&A集	若手の薬局薬剤師、病院薬剤師に集合してもらい、受講者のあらゆる質問に答え、非社会人の甘さを切る!
懇談会	6月28日	13:00～13:45	高橋 智至	日本薬剤師会	40	薬剤師会って何するところですか?	薬剤師の仕事を支援しています。自分の仕事を聞いていただきます。
		13:45～14:30	久保田有沙	東京都 福祉保健局 健康安全室 薬事監視課	40	東京都庁に勤める薬剤師って何しているの?	薬学部を卒業して東京都に勤めるとどのような仕事をするのか、予想もつかないと思いますが、意外と身近な仕事なんです。その内容をわかりやすく解説します。
		休憩					
		14:40～15:25	本田 二葉	医薬品医療機器 総合機構新薬 審査第一部	22	新薬の効き目や安全性のチェックはどうなっているのだろう。新薬の承認審査という仕事。	新薬が販売される前に、国でその効き目や安全性についてチェックしますが、どのようなことをしているのか。その内容をわかりやすく解説します。
		15:25～16:10	高橋 未明	厚生労働省 医薬食品局 安全対策課	31	厚生労働省に勤める薬剤師って何しているの?	薬学部を卒業して厚生労働省に勤めるとどのような仕事をするのか、テレビ、新聞、ワイドショーなど身近な話題、聞いたことのある話題からその内容をわかりやすく解説します。
	6月28日	16:30～18:00	参加可能講師陣			講師陣と受講者の懇談会	質問できなかったことの最終確認・討論

東京理科大学薬学部の近況

東京理科大学薬学部 医療安全学研究室 小茂田 昌代

薬学部6年制が始まって今年の4月で3年目を迎え、6年制の1期生はすでに3年生となりました。理科大は多くの研究者を輩出してきた実績を基盤として、ヒューマニズム溢れる研究心をもった薬剤師養成を目指して6年制がスタート致しました。6年制に入学してきた学生は、以前と比べて医療人になるという意識の高さを感じられます。また、4年制の学生は研究者になりたいという意欲を強く持った学生が多く、6年制と4年制の学生は当初の教員の心配をよそに、お互いに尊重し合いながら、切磋琢磨しているようです。基礎研究を臨床応用に繋げるTranslational Researchは、今後益々活発化することが予想され、理科大は最適な環境が整備されていくものと期待されます。

1年生に導入された早期体験学習の一環として、病院や保険薬局の薬剤師の方々にご協力いただき、医療の現場の見学を行っております。現場では何も分からぬ一年生にどんな説明をしたらいいか戸惑いもあったようですが、学生は「薬の多さにびっくり」「こんなに色々な仕事をしているとは」「病棟に薬剤師がいてかっこよかった」「患者さんを救う薬を開発したい」などの感想が出され、今後の学習意欲の向上に役立っていると思われます。

6年制教育では、学生主体の学習方法としてPBL (Problem Based Learning: 問題解決型授業) やSGD (Small Group Discussion) が協調性や積極性、コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力、問題解決能力の養成を目的として多く取り入れられています。今後益々医療の現場ではコミュニケーション能力が重要視され、医療チームの中で薬の専門職として患者や医師、看護師などのニーズに応えられる薬剤師を育成したいと考えます。

そして、来年いよいよ実務実習の登竜門であるCBT (Computer Based Test: 知識を評価するコンピュータを使った試験) と、OSCE (Objective Structured Clinical Examination: 技能・態度を評価する客観的臨床能力試験) が行なわれます。理科大では昨年OSCEトライアルを2回実施し、2回目は4年生80名を対象に本番さながらの内容で行いました。OSCEは受験する学生の緊張もさることながら、事前の準備には綿密な打ち合わせが必要であり、学生以上にOSCE委員である教員の緊張も大変なものでした。課題として、1回目に行なった調剤鑑査に代わって処方鑑査を取り入れ、また副作用回避のためのベッドサイド面談という新たな課題も作成いたしました。当日は他大学の教員と近隣薬剤師会と病院薬剤師会より薬剤師の方々に評価者としてご協力いただきました。さらにOBの方にSP (模擬患者) として準備段階からご協力いただき、何とか無事に終了することが出来ました。

そして、有能な6年制薬剤師を生み出す鍵となる事前実習が来年の後期から開始となります。実務家教員の一人と致しまして、事前実習の内容の充実させるためにあれこれ思いを巡らし、具体的なカリキュラム作成から実習書作成に向けて邁進しております。事前実習を行う実習棟の着工も目前に控え、身の引き締まる思いです。事前実習、CBT、OSCE後の5年次には、理科大オリジナルのアドバンス教育においても理科大だからこそという先進的なプログラムを準備する予定です。事前実習、OSCE、アドバンス教育の実現には多くの現場薬剤師の方々のご協力が不可欠な状況にあります。有能な後身の育成のために、今後ともOBの皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。



最近の薬剤師を巡る動向

小林 寧 (26期)

平成20年度になって早数ヶ月が経ちました。本年4月1日から施行された改正法等のうち、薬局や薬剤師に関する内容を整理してみましたので、確認などにお使いいただければ幸いです。

◇診療報酬・調剤報酬の改定

本年4月の診療報酬・調剤報酬の改定については、既に厚生労働省からの諸通知や疑義解釈資料、日本薬剤師会作成のQ&Aなどが出揃っています。日本薬剤師会のホームページ（会員向けページ）に掲載しておりますので、ご活用下さい。

◇後期高齢者医療制度

これまでの老人保健制度が廃止され、本年4月より新たに75歳以上（65歳以上75歳未満で障害認定を受けた人を含む）を対象とした後期高齢者医療制度が開始されました。運営は都道府県単位の広域連合です。後期高齢者も全員保険料を納めることとなり（平成20年9月までは保険料凍結。平成20年10月～平成21年3月までは9割軽減）、医療機関や薬局での一部負担金の割合は1割（現役並みの所得があると3割）とされました。窓口負担には、月ごとの上限額が設けられ、また、世帯単位での医療保険と介護保険の窓口負担の合計額が1年間で一定の金額を超えた場合に払い戻しを受けられる「高額医療・高額介護合算制度」も設けられました。

調剤報酬では、後期高齢者薬剤服用歴管理指導料（処方せん受付1回につき35点）が新たに設けられました。

◇一部負担金の給付割合の変更

健康保険法等の改正により、本年4月より、70～74歳の窓口負担は1割から2割に引き上げられるはずでしたが、平成21年3月までは1割（現役並みの所得があると3割）に据え置かれました。また、3歳から義務教育就学前までの窓口負担は、これまで3割だったものが2割に引き下げられました（市区町村によっては2割部分を減免している場合があります）。

なお、処方せんの「備考」欄には、未就学者の患者の場合は「6歳」、高齢受給者または後期高齢者医療受給者であって一般・低所得者の患者の場合は「高一」、高齢受給者または後期高齢者医療受給者であって7割給付の場合は「高7」と記載することになっています。

◇後発医薬品の使用促進

本年4月より、処方せん様式が改められ、後発医薬品

への変更を原則とする方式へ変更されました。また、保険薬局及び保険薬剤師療養担当規則に後発医薬品の備蓄などの体制整備、後発医薬品に関する情報提供および後発医薬品の調剤に努めることが規定されました。

調剤報酬では、薬局における後発医薬品調剤の実績を評価するため、「後発医薬品調剤体制加算」（4点）が調剤基本料への加算として評価されたほか、分割調剤を利用して後発医薬品への変更を行う仕組み（いわゆるお試し調剤）も導入されました。

◇新たな薬剤師の行政処分

平成18年の改正薬剤師法により、薬剤師の行政処分は①戒告、②3年内の業務停止、③免許の取り消しの3段階となり、行政処分を受けた薬剤師に対しては、厚生労働大臣が再教育研修を受けるよう命ずることができるようになりました。

この改正薬事法が施行され、本年度より、新たな薬剤師の行政処分と、処分を受けた薬剤師に対する再教育研修の制度が実施されています。

◇薬剤師資格確認のための検索システムがスタート

4月1日より、厚生労働省ホームページ上に、薬剤師の資格確認のための検索システム（<http://yakuzaishi.mhlw.go.jp/>）が開設されました。

国民による薬剤師の資格の確認と、医療における適切な選択に資することが目的です。検索したい薬剤師の氏名と性別を入力すると、該当する薬剤師があれば薬剤師名簿の登録年とともに表示されます。また、行政処分を受けた薬剤師については、行政処分に関する情報（処分の種類等）も表示されますが、再教育研修の修了後（業務停止期間中であれば業務停止期間の終了後）は表示されません。

◇特定健診・特定保健指導

本年4月より、被保険者を対象とした特定健康診査および特定保健指導の実施が保険者の義務となりました。特定健診の対象者となるのは40歳以上75歳未満の医療保険加入者で、特定保健指導の対象者となるのは、特定健診の結果「健康の保持に努める必要がある」と判断された受診者ということになります。

特定保健指導には、健診判定の改善に向けて実践できる目標を設定し、継続的に実行できるよう支援する「積極的支援」と、生活習慣の改善点に基づき、目標を設定し行動できるよう支援する「動機付け支援」があります。

いずれも特定保健指導では、医師、保健師、管理栄養士が作成する計画に基づき実践的支援を行うこととなりますが、この実践的指導の実施者には、一定の研修を受けた薬剤師もなることができます。研修には「食生活改善指導担当者研修（30時間）」と「運動指導担当者研修（147時間）」の2種類があり、研修の実施機関についての情報は国立保健医療科学院のホームページ上に研修のデータベースが開設される予定です。

◇登録販売者試験の実施

本年度より、「登録販売者」の試験が各都道府県で実施されます。登録販売者は、「薬剤師以外は扱うことができない一般用医薬品（第1類医薬品）を除く一般用医薬品を販売できる、新たな専門家」として規定された者です。

試験日・場所などは、各都道府県より公表されます。また、登録販売者が実際に従事することになる店舗販売業（現在の一般販売業又は薬種商販売業）など、販売制度に関する各種規制は平成21年度から適用されることになります。

◇高度医療評価制度

本年4月より、薬事法で未承認の医薬品等を用いた先進医療技術について、保険診療との併用を実施医療機関ごとに認める枠組み（高度医療評価制度）が設けられました。厚生労働省で医療機関からの申請を受け付け、医政局に設置された「高度医療評価会議」で安全性や有効性等が認められれば、評価療養の対象となります。

◇その他

- その他、以下の内容も本年度より実施されています。
- ・新たな医療計画（都道府県が実施）
- ・医療費適正化計画（都道府県が実施）
- ・B型及びC型肝炎のインターフェロン治療に対する医療費助成（都道府県が実施）
- ・中国残留邦人等に対する医療支援の給付（都道府県が実施）
- ・介護サービス情報の公表制度の対象の拡大。介護予防福祉用具貸与、特定介護予防福祉用具販売も対象とする。（都道府県が実施）
- ・健康被害救済制度における医療費及び医療手当の請求期限を2年から5年に延長（医薬品医療機器総合機構が5月1日より実施）



「明野友愛農場」奮闘記

中村 洋司（3期）

50歳代半ばから、自分もそろそろ還暦になることを意識し始めていました。このまま今の生活、仕事、社会的立場を続けるか、それとも新たな生活を始めるか。自分で始めた調剤薬局運営会社もそろそろ20年になるし、母校との関係も同窓会、部活のOB会、また薬剤師会など、ずいぶん手が広がっていました。今日あるのは、「みなさまのお蔭様」という意識が強く、どの活動も自分のためというより、社会に対してご奉公的な意識がありました。還暦を元気で迎えられたら、今度は自分自身のやりたいことをやってみよう決心しました。まず、会社経営を含めたすべての役職を次の方々に引き継いでいただこうと思いました。幸いそれぞれお引き受けいただける方々に恵まれ、支障なく引継ぎをすることが出来ました。中にはご迷惑をおかけすることになってしまった事項もあったと思いますが、今後もお手伝いさせていただくということで、引継ぎができました。どうしても出来なかつたものもありましたが、還暦の1年前にはすっかり身軽になりました。

私は信州諏訪の出身です。生家はいわゆる小規模農家でしたが、私が10歳のころ父は役場の職員に採用されサラリーマンに転進し、農業は母、祖母が細々やるだけになっていました。町は工業化が進み、農地はみるとみる転用され、住宅、工場に変わってきました。高校卒業

のころは、まだ田んぼもありましたが、農業で生計を立てている家は、ほんとに少なくなっていました。我が家も祖母は亡くなり、田畠は町に買い上げとなり我が家はサラリーマン家庭になっていました。大学卒業後は大阪の製薬会社にMRとして勤めていましたが、35歳で退職。東京三鷹で薬局を始めました。それから約20年たってみて、ふと百姓の血が騒ぎ出しました。父は小学校のころ私を百姓にするための教育をしていたように思います。そのことが急に体が思い出したのかもしれません。早速、生家の庭を片付けて野菜苗を植えてみました。それまではめったに帰省したことありませんでしたが、野菜のことが気になりせっせと帰省し野菜つくりにはまってしまいました。こんなに興味がもてることはそんなにないぞと思い、還暦後は農業をしてみようと決心しました。

東京で仕事の引き継ぎなどと併行し、農業の勉強を本格的に始めました。農業は経験が必要な職業と聞いていますし、確かにその通りだと思います。しかし、経験だけはもう間に合いませんから、勉強して追いつくしかありません。農業の専門出版社の本をしこたま買い込み、自分なりに農業を研究してみました。植物の生態、生理などや土壤学、肥料学（植物栄養学というのだそうです）、農薬、害虫駆除、雑草駆除、農業機械、施設や農業経済



のことなど大変おもしろくて、すっかりとりこになってしましました。幸い、家内の実兄が山梨県の農協の職員であったことで、山梨県明野村（現在の北杜市）の農地再開発地域に3反確保できました。10年契約で借りることにしました。ここは茅ヶ岳の火山扇状地でなだらかな丘陵地ですが、農業用水が確保できず開発が遅れていたところでしたが、私が借りる少し前に塩川から農業用水を引く工事が終わって水の確保が出来るようになりました。まことに風光明媚なところでして、南に富士山、北に八ヶ岳、西は南アルプス、東は茅ヶ岳という実に広々とした畑が広がっています。農道など整備され畠一枚が6反から1町歩くらいに整備され、大型機械も入りやすいくらいで気に入りました。村の農業委員会も義兄の紹介ということで、問題なく賃貸契約することが出来ました。早速、東電に掛け合い電気を引いていただき、上水道工事、プレハブの住居、倉庫建設など予算ぎりぎりで何とか腰を落ちさせて農業が出来るようになったのが、60歳を迎える年でした。3反の農地というのは60メートル×50メートルの畠です。最初はその広さに圧倒されました。中古のトラクターなどを農協からお世話いただき、何とか始めることができました。周りの畠は、どこも専業農家、いわゆるプロの方々です。皆さん、私のことを「東京から定年だというので農業始めてみようか」という変な人」とうつったようです。こちらから挨拶したりして、だんだん農家の人々と話ができるようになり面倒見ていただいている。県の農業試験場の先生方に

もこちらから出向き、いろいろご指導いただきました。また、農協の支所の皆さんと親しくさせていただき、助けていただいている。2年目くらいから、出来た作物を農協直売所にだして、売っていただいている。自分で作ったものが、知らない人に買っていただくことの喜びは、今までの人生では味わうことが出来ないうれしく、誇らしいことです。直売所で農家のおばちゃんに「よく出来たねえ」などとほめられたりすれば、日ごろの苦しい農作業もいっぺんに吹き飛びます。また、東京の友人の皆さん、会社の従業員の皆さんが休みのときなどお手伝いに来ていただいている。

現在、日本のおかれている食料に関する諸問題は将来心配になります。年金がもらえるようになった人は、田舎で農業、漁業などに従事するのも選択肢の一つではないでしょうか。まだ、子供の教育が残っているような若い方が農業に従事するのは現金収入がすぐないだけに大変だと思います。昔の農業と違い、機械化され技術も確立され販路もかなり出来上がっている印象です。やりようによっては国のほうでも補助金を出して支援してくれます。私にとりまして2008年は、明野友愛農場で5作目です。あと5年頑張ってみようかと思っています。今は70歳からの人生はどうしようか、などと考えながら夏野菜苗を育てています。私の農場での様子はブログ「明野友愛農場」で検索してみてください。ご笑覧ください。



東京マラソン2008完走記

岩崎 修 (14期)

名古屋、福岡と単身赴任が続く中、血糖値が少し高くなりだした事がきっかけでジョギングを始めました。2型糖尿病の治療の基本は、食事療法・運動療法ですが、中々守れない人が多いと医師が言うので、がんばってみようと思い立ちました。目標があった方がまじめに続けられると友人にさそわれてレースにも参加しましたが、走ったあの充実感・爽快感が何とも言えず今も走り続けています。

第1回東京マラソンにも応募しましたが抽選で落ちてしましました。仕事が入りましたが、皇居に応援に行ってどうしても来年の東京マラソンには出ると決心しました。抽選があるので確信はなかったのですが…

当選確率5倍の難関を突破し、念願の日がやってきました。その日は5時に目が覚めた。おにぎり2個を口に押し込み、サロメチールを膝とすねに入念にすり込んだ。寒さよけにホッカイロをシャツの裏側に貼り付けスポーツドリンクを1本リュックにほうり込むと一家を出た。7

時半に都庁前に着く頃には続々と集まつくるランナーすでに大混雑していた。いよいよ東京の街を7時間貸し切った大レースが始まる。8時半スタート地点に向かう。昨年とは違い今日は雲一つない晴天。オリンピックを目指す招待選手らのすぐ後ろのAブロックからのスタートだった。100人以上のカメラマンがシャッターをこちらに向いている。9時10分緊張が走る。スタートの号砲とともに、すごい勢いで紙吹雪が振り注いだ。桜の形だった事はあとで知った。

都庁をスタートしてからしばらくは高揚感と緩やかな下りの為かスピードを抑えきれない自分がいた。5km市ヶ谷をすぎ外堀通りに出るとしばらくして、母校、理科大的校舎が見えてきた。学生時代はラグビー部で何度もこの道を走ったことが懐かしく思い出された。8km竹橋で皇居に出た。現在所属している「千代田走友会」の大応援団が旗を振っている。照れくささと嬉しさがこみ上げる。左手を上げて応えた。走れなかった人の分もがんばらねば。



右から3人目が岩崎修さんです

10km地点の日比谷で有森裕子さんからハイタッチの激励を受けた。ますます元気が出でてこのままのペースで行ける所まで行こうと品川の折り返しに向かう。

レースのカギは前半の10kmのペース配分だ。だがまだこの時は落とし穴が待っているとは気がつかなかつた。途中の芝増上寺付近で先頭集団とすれ違つた。やっぱりトップは早い。走り出してすでに1時間半が過ぎた頃、急に空腹感が漂いだした。中間地点の有楽町めざし東京タワーを左に眺め走っていると、日医ジョガーズ（緊急時対応の医師ランナー）の風船をつけた佐藤さんが「もう糖分を取ったほうがいいよ」と声をかけてくれた。軽く頷くだけでもうそのスピードにはついていけなかつた。

東京マラソンの目玉はやはり銀座を走ることだと思う。応援が左右ひしめく大通りをさっそうと駆け抜ける…予定だったのだが、明らかにペースが落ちてきた。応援の声は聞こえるが景色を見る余裕がない。目線が地面を向いてしまつてもうあごがあがってきた。一番の見せ場なのだが。銀座で最初のエイド（ボランティアによる食べ物を用意の場所）にたどり着きバナナを3切れつかみ口に押し込んだ。沿道の方からチョコレートもいただく。最後までもつかな？不安な気持ちを振り払い、目標をタイムから完走に切り替えた。まずは何とか浅草までたどりつこう。大きく肘をふってリズムを取る。28km地点、下町育ちの自分には浅草雷門も走りたいポイントだった。太鼓の音が響き沿道一杯の応援が励ましてくれ

た。無心で走って日本橋まで帰つてくる頃には少し元気が戻つた。35km地点、歌舞伎座を走りすぎるとラスト7km。よしここから、と気合を入れたとたん太股がビクリと痙攣した。筋肉もパンパンになってきていた。難所の佃大橋はもうすぐだ。

のほりが延々と続く。歩くランナーがボツボツ出始めた時、遠くで応援の声がする。橋の上は応援の人人が途切れるのに？「もう少しです、頑張ってください！」ボランティアの人たちが橋の頂上でメガホンをたたき、ありったけの声で応援してくれていた。頭の上から降ってきた声に空を見上げた。マンションのベランダからもたくさん的人が応援してくれていた。くそ～もう少しだ、汗は止まったのになぜか涙が頬を伝わつた。40km地点で猫ひろしさんが「ニャー」と言って横を通り過ぎた。TVカメラを持った人も走っていく。ずっとカメラを持って後を走つていたのだろうか？脱帽。

ビッグサイトが見えてきた。いよいよゴールだと思うと体が少し軽い。前半のオーバーペースがなければ…。「ゴールは笑顔、ゴールは笑顔」とつぶやきながらお決まりの両手を挙げたポーズとくしゃくしゃの笑顔で走りこんだ。タイム3時間55分17秒。自己ベストには及ばなかったが完走の記念メダルをかけていただき嬉しさがこみ上げた。ボランティアの方沿道の応援の方本当にありがとう。また来年も挑戦したい。



新任の挨拶

土谷 隆紀

私は、東京理科大学薬学部第19回卒（昭和57年）で、卒業後は実家のある福岡の九州大学医学部附属病院薬剤部の研修生となりました。同年、同薬学部附属病院薬剤部に勤務し、5年後、縁あって東京女子医科大学附属病院に勤務し再び東京の地に戻ってまいりました。病院薬剤師の仕事はご存じの通り変化しており、院外処方せんの発行、薬剤管理指導業務、注射調剤、抗がん剤の調製および管理、各種チーム医療など多岐に渡ってきました。女子医大では在宅医療部、外来棟建設、電子カルテ導入に関わり、東京女子医大八千代医療センターを開設し、同薬剤部長に就任しました。また、東京女子医大は心臓手術中的人工心肺装置の操作ミスで小学六年の女児が死亡し、診療記録が改ざんされた事件を期に、医療安全対策室を兼任し、医薬品関連の医療過誤の多さ、「薬剤師が関与していれば…」という多くの事例を経験し、薬剤師の必要性を痛感しました。現在はキッコーマン総合病院という企業立病院の薬剤部長をしております。また当病院は野田市にあることから東京理科大学とも研究、臨床等いろいろな面で協力体制をとって行きたいと思います。

さて、薬学部も一部6年制になり、薬学教育も変わっていく必要があります。「薬をどう創るか」、「薬をどう造るか」、「薬をどう使うか」、「薬をどう知らせるか」ということをしっかりと理解し、基礎薬学と医療薬学のバランスのとれた教育が必要となります。すぐに役立つ薬剤師ではなく、基本をマスターし自己研鑽により新しい事態に適正に対応できる素養を身に付けることが必要と考えます。まだまだ教育者としては未熟ですが、現役の病院薬剤師として、今、望まれる薬剤師像を学生に伝え、現場でのニーズに対応できる能力を身につけさせたいと思います。理科大薬学部OBの先生方には、各方面で学生の教育に参加していただき、見学や学生の受け入れ等をお願いしたいと思います。またキッコーマン総合病院も病院の建て替えを検討中です。その中には薬学生のための部屋や理科大とのネット接続も組み込みたいと考えております。ご意見等お聞かせ願えればと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。

久保寺先生を偲んで

岡宮 智子（11期）

去る4月14日、久保寺昭子先生は入院加療の甲斐なくお亡くなりになりました。

久保寺先生には、縦割りクラスの担任と卒研で4年間ずっとお世話になりました。いつも長い黒髪をきりりと巻き、大学に来ると白いソックスをはいていたのが印象的でした。放射性薬品を扱うということで授業ではとてもきびしい先生でしたが、普段はとても優しく、帰りにはよく「智ちゃん、一緒にご飯食べに行こう！」と言って神楽坂のいろいろなお店へ連れていって下さいました。卒業後も会社を退職してぶらぶらしていた私にアルバイトを紹介して下さり、先生にとって私はいつまでも手のかかる出来の悪い教え子だったのではないかでしょうか。

先日部屋の片付けをしていたら、先生より結婚のお祝いに頂いた〈金貨〉が出てきて、とても懐かしく思っていた矢先の突然の訃報でした。最後にお目にかかるのは退職記念祝いの席で、その後原子力関係の仕事で全国を飛び回ってお忙しく、お会いする機会がなかったのが残念です。

なお、6月15日（日）には「故久保寺昭子先生を偲ぶ会」が開催されます。当日はたくさんの方々が先生を偲んで集まられる事と思います。謹んでご冥福をお祈りいたします。

同窓会だより

神戸での地区交流会

第40回日本薬剤師会学術大会が2007年10月7日、8日と神戸で開催されたのにあわせて、地区交流会を10月7日(日)19:30からJR三ノ宮駅前の神戸東急インで開催した。開催には関西在住のある同窓会会員に大変お世話になった。幹事会で開催することが決定はしたが、インターネットや電話帳を駆使しても実際の会場がどのようなものになるかが把握できず、神戸に会場を探すことができなかった。担当としては困り果てていたところ、日本薬剤師会勤務の小林 寧氏(26期)が神戸の薬剤師会関係者を介して土屋向一氏(8期)に会場手配をお願いしてくださった。会場決定の報を受けたときには、大変安心したのを今でも覚えている。この紙面を借りて、突然のお願いにもかかわらず快く会場を手配して下さった土屋氏に御礼を申し上げます。

参加申し込みの連絡は当日まで僅かであつたが、時間になると続々と集まって下さり、

30人を超えた。楽しい時間を共有でき、終了後もあちらこちらで会話する姿が見かけられた。次回開催の話が幹事会で出ているが、さてさてどのようにしようか？今後も突然どなたかに会場探しをお願いすることがあるかも知れません。そのときは皆様よろしくお願ひいたします。



14期（昭和52年卒業）の皆様へ

5月初旬にハガキでお知らせいたしましたが久々に14期同期会を行います。

皆様 お誘い合わせのうえ、是非ご参加ください。

日 時：平成20年7月26日（土）

会 場：インテリジェントロビー「ルゴ」

(新宿区揚場町2-1軽子坂MNビル1F)

14:00 ~ 15:00 同窓会総会

15:00 ~ 17:00 特別講演会 14期 林 譲 先生

17:00 ~ 20:30 懇親会

会費：7,000円（懇親会・同期会費として）

二次会、有志にて21:00頃～ BAR「天空」

神楽坂2-21、徒歩5分

TEL : 03 - 3260 - 5141

幹事：石井文由、畠中（島野）典子、谷口（木村）晶子、
岩崎修

連絡先：TEL & FAX 03-3693-4673

16期同期会のお知らせ

16期（昭和54年3月卒業）の皆様、今年はオリンピックの年、同期会の年です。

同期会が近づきましたら往復ハガキにて再度お知らせしますので、皆様 お誘い合わせのうえ、ご参加ください。

日 時：平成20年11月2日(日) 13:00より

場 所：日本出版クラブ会館 東京都新宿区袋町6

TEL 03-3267-6111 FAX 03-3267-6095

(場所については下記web siteでご確認ください。)

<http://www.shuppan-club.jp/>

会 費：10,000円予定

幹事担当：田畠新、谷口淳二、中村久美子（旧姓小林）

友あり遠方より来る

伊藤充朗・昭子(13期)

昨年の2月ころ1期先輩である土浦市薬剤師会長の金沢先生より7月に行われる同窓会での司会をとのお話をありました。当時、私自身4月に行われる7期目の市議選立候補に向け活動の真っ只中他の事を考える余裕のない時期でしたが司会ぐらいならと軽い気持ちでお受けいたしました。

選挙も無事終わり、その後、野田で行われた幹事会に出席しビックリ！司会を初め同窓会当日の一切を13期生で運営することになっているとのこと。改めて引き受けたことに猛反省すると共にその責任の重さを痛感させられ即刻家に戻りしばらく聞くこともなかった同窓会名簿をもとに全国の同期生に電話をかけまくりました。

驚いたことに、電話の向こう側から聞こえてくる友人の声は、まさしく新鮮で、何十年も会っていない友人が多い中、口調も学生時代のままなぜか、今回の役をいただいたことに感謝している自分がいることに気づき、本当に楽しい時間となりました。6月に入ってからは、同

期の妻と共に、同窓会会場を2度訪問しました。その折にも、久しぶりに学生時代に戻って、神楽坂の雰囲気に入ることが出来たのも、役得のゆえでしょうか。

同窓会当日は、同期のメンバー13人が出席し、お互いに年相応の変化をしているものの（笑）、互いに交わす言葉も、話の内容も、30数年前にタイムスリップし、先輩・後輩との素晴らしい交流もあり、楽しい時間となりました。同窓会の後、近くの居酒屋で同期会を開きましたが、いやが上にも盛り上がり、これからは毎年会うことを全会一致で決定いたしました。別れがつらく、夜が更けるのも忘れての語り合いは、延々3次会まで続き、飯田橋駅で皆と何度も再会を約束して別れるころには、日付はとうに変わっていました。

このように素晴らしい機会を与えてくださいました先輩はじめ、同窓生の皆様に対しまして、心から感謝申し上げます。本当に、ありがとうございました。



2007. 7.21(土) 13期担当 総会・講演会・懇親会



平成19年度同窓会通常総会および講演会について

平成19年7月21日(土)午後、インテリジェントロビー「ルコ」において、平成19年度通常総会が開催されました。

総会担当の伊藤充朗氏（13期）より開会が宣言、石井甲一会長の挨拶、次いで、安達副会長が議長に指名され、伊集院一成（25期）、内村兼一（30期）両氏の議事録署名人指名の後、議事に入りました。

議題は以下の通りです。

第一号議案 平成18年度事業報告の件

第二号議案 平成18年度決済報告及び監査報告の件

第三号議案 平成19年度事業計画案の件

第四号議案 平成19年度予算案の件

いずれの議題も原案通り承認されました。

以上の議案審議の後、伊藤充朗氏より閉会が宣言されました。

第二部の特別講演会は、山本信夫先生（中央社会保険医療協議会委員、日本薬剤師会副会長）に、「これからの医療保険制度－診療報酬・調剤報酬、薬価基準－」という題目で、ご講演いただきました。



2006年度会計報告			
東京理科大学薬学部同窓会 2006年4月1日～2007年3月31日			
収入の部	金額	支出の部	金額
会員費	3,521,000	人件費	497,300(アバウト代名簿記入分を含む)
名簿購入代	73,000 電話代(0300)	名簿販売費	57,300(0300)
名簿販売手数料	9 諸割内(社員頒布費)	835,295(ふなから印刷店(書道印刷))	
旅費	4,482 部費、名配代	60,655(手すり、はがき、便紙、名簿頒布受取人払い)	
懇親会参加費	240,000 講演会謝金	50,000(講演謝金)	
地区交換会懇親会参加費	0 同会経費	68,025(会場費、会場シール代)	
講演会参加費	0 懇親会費	315,000(会場費)	
寄付金	52,000 実践社会薬学講演謝礼	60,000(同書添付2006円×30名)	
貯金より繰り入れ(原)	1,317,770 実践社会薬学学生との情報交換会	100,000	
		70,000	
		161,700(記念スリーブ280本)	
		14,700(郵便、事務運営費)	
		30,000(1箱)	
		0	
		4,000	
		1,716,031(名簿作成、発送(書道印刷))	
		1,000,000	
		102,246	
		98,000(会員(実践会費、名簿代など))	
合計	8,208,252	合計	5,256,252

※ 2006年度入会された名簿購入代、名簿販売手数料114,000円を含む

前年度残高	20,896,727
今年度残高	-1,317,770
次年度へ繰越	19,578,957

資産内容

管理用監督印鑑	1,888,040
普通預金	18,900,619
普通預貯金(名簿代)	1,122,538
現金	239,760
合計	38,948,357

以上の通り会計報告いたします。
平成19年7月3日
会計 畠宮 智子

監査報告

会計報告の各事項を監査し、その収支ともに正確であることを認めます。

平成19年7月10日

会計監査 岩井 幸彦
草木 記子

第4回座談会	
東京理科大学薬学部同窓会 平成19年度収支予算案	
平成19年4月1日～平成20年3月31日	
収入の部	支出の部
内訳	内訳
内訳	金額
同窓会費	2,800,000
懇親会参加費	200,000
地区交換会懇親会参加費	250,000
名簿購入代	3,000
寄付金	2,000
人件費	700,000
電話代(0300)	60,000
諸案内状印刷発送費	850,000
郵便代(宅配代も含む)	60,000
講演会謝金	50,000
経会経費	70,000
懇親会費	200,000
実践社会薬学講演謝礼	60,000
実践社会薬学打ち上げ援助	100,000
卒業謝恩会祝金	70,000
卒業記念品	200,000
交際費	15,000
同窓会協賛金(2期分)	60,000
地区交換会懇親会費	250,000
全国薬科大学薬学部連絡協議会	5,000
文具・事務経費	85,000
ホームページ維持費	70,000
備品費(事務用パソコン等)	250,000
予備費	100,000
合計	3,255,000
合計	3,255,000

氏名・住所・異動等変更届

東京理科大学薬学部同窓会宛
下記の変更をお知らせします。

記入 年月日

氏名	フリガナ 姓 名 漢字 姓 名	旧姓	フリガナ 姓 名 漢字 姓 名
卒業・修了	薬学部(薬学科・製薬学科) 期 年卒 (卒・研究室)		大学院(修士・博士) 年修了 (院・研究室)
住所	〒 - 都道府県 旧住所		
	〒 - 都道府県 現住所		
	TEL.	FAX.	
Eメールアドレス @			
勤務先	フリガナ 名称		
	〒 - 都道府県 所在地		
	TEL.	FAX.	
Eメールアドレス @			
その他 連絡事項			

個人情報は 東京理科大学薬学部同窓会の規定に従い管理致します。

【事務所・連絡先】 東京理科大学薬学部同窓会 事務局

〒278-8510 千葉県野田市山崎2641 東京理科大学薬学部内
 FAX : 04-7121-3656
 E-mail : jimu@ridaiyakudo.gr.jp

【ホームページ】 <http://www.ridaiyakudo.gr.jp/>

切り取り線

薬学部同窓会は同窓生の会費で運営されています

薬学部同窓会の皆様、本年も昨年に引き続き会費納入本当にありがとうございました。同会幹事一同心からお礼申し上げます。また、本年度から新たな同窓生となられました平成20年3月ご卒業、ご修了の皆様、ならびにご父兄の皆様から本同窓会運営に賛同を得ることができましたことを本当にうれしく思っております。

皆様ご存知のとおり、東京理科大学薬学部同窓会は同窓生から徴収された会費により運営されております。すなわち、本同窓会の運営は、会費納入者である正会員の皆様の真心に支えられております。われわれ、幹事一同は、皆さんの真心に支えられて、本同窓会の運営に努力して参ります。今後とも、ご支援、ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。



平成20年度会費納入のお願い

平成19年度に引き続き、平成20年度会費納入をお願いいたします。

会員の会費納入状況は、ふなかわら送付時の宛名の下部に記載しておりますのでご確認ください。

(終身・∞ v(^-^)v)

終身にわたり会費を納入済みの正会員の方：終身会員の方は、納入年度にかかわらず、ふなかわらにお名前を記載させていただきます。

(H××年・済 (^-^)v)

H××年度まで会費納入済みの正会員の方：会費納入年度のふなかわらにてお名前を記載させていただきます。

(H20年・お願い m(_ _)m)

H20年度会費 未納の会員の方

なお、会費納入の際には、同封の郵便局振り替え用紙をご利用ください。会費は年会費2,000円（何年分でも納入できます）、終身会員50,000円です。ご寄付も受け付けておりますのでよろしくお願い申し上げます。

平成19年度（2007年度）会費納入額詳細（平成20年3月31日）

	年会費納入		終身会費納入		寄付金		合計金額
	金額	人數	金額	人數	金額	人數	
2007年度卒業・修了者	72,000	4	1,316,000	44			1,388,000
既卒者	401,000	90	810,000	17	12,000	8	1,223,000
合計	473,000	94	2,126,000	61	12,000	8	2,611,000

薬学部同窓会会員数（平成20年度4月1日現在）

	会員登録数	終身会員	年会費会員
卒業生	8052名	1544名	867名
大学院修了生	194名	13名	5名
合計	8246名	1557名	872名



東京理科大学薬学部同窓会へのお問合せ

【事務所・連絡先】

東京理科大学薬学部 同窓会事務局
〒278-8510 千葉県野田市山崎2641 東京理科大学薬学部内
FAX : 04-7121-3656
E-mail : jimu@ridaiyakudo.gr.jp

【ホームページ】

<http://www.ridaiyakudo.gr.jp/>

行事などに関するご案内など掲載しておりますので是非、アクセスしてみてください。

編集後記

「定年になつたら田舎で農業でも始めようと思っているんだ」、「最近、体力の衰えを感じたからジョギングを始めたよ、目標はホノルルマラソンで完走すること」、友人との雑談の中で、よく耳にする会話です。卒業生報告は、これを地で行くお二人からの寄稿です。4期の中村さんは農業での奮闘の様子、14期の岩崎さんは、東京マラソンについてご寄稿いただきました。体一つでできるマラソンは単純だからこそ、奥が深く、我々を感動させます。食の安全がよく取り上げられますが、農耕民族である我々にとって、土（自然）に思いを馳せることが、一つの解決策なのかも知れません。

薬学部の6年制も3年目をむかえ、薬剤師をとりまく環境も大きく変わろうとしています。本年4月から始まった後発医薬品の使用推進では、薬剤師に対し最も大きな期待が寄せられていますし、多くの場面で、薬剤師の関与が求められるようになってくることは必至です。薬剤師に関わる法律もコンパクトにまとめていただきましたので、参考にしていただければ幸いです。

平成20年度

幹事一覧

小原	侃	(1)
黒崎	浩巳	(1)
山口	堅志郎	(1)
山口	精子	(2)
鈴木	政雄	(3)
中村	洋司	(3)
池田	幸雄	(4)
宇留野	強	(4)
柏木	敬子	(4)
山川	洋志	(5)
湯田	康勝	(5)
植木	清一郎	(6)
藤井	幸子	(6)
石井	賢二	(7)
寺山	博行	(7)
松岡	隆	(8)
奥村	成太	(8)
武尾	勝司	(9)
中島	敏夫	(10)
原	しげ子	(10)
石井	啓子	(10)
安達	順一	(11)
石井	甲一	(11)
小暮	渉	(11)
岡宮	智子	(11)
富秋	英志	(11)
向井	呈一	(11)
金澤	幸江	(12)
犬飼	陽子	(12)
飯島	康典	(12)
濱野	朋子	(13)
波田野佐和子	和子	(13)
伊藤	充朗	(13)
伊藤	昭子	(13)
田村	哲彦	(14)
岩崎	修	(14)
石井	文由	(14)
林	譲	(14)
畠中	典子	(14)
菅原	伸治	(15)
遠藤	健治	(16)
関口	真紀子	(16)
小池	勝夫	(16)
田畠	新	(16)
今	和枝	(16)
渡部	敏行	(16)
武田	直子	(16)
青山	隆夫	(17)
渡辺	宏二	(18)
小嶋	知夫	(19)
小松	俊哉	(20)
飯野	直子	(21)
吉田	雅人	(21)
安藤	秀一	(22)
磯部	總一郎	(22)
小川	政彦	(22)
永井	健二	(22)
高井	幸恵	(22)
和田	和裕	(22)
原田	みどり	(22)
北嶋	晶子	(23)
上村	直樹	(23)
伊集院	一成	(25)
小林	寧	(26)
間根	靖之	(26)
若松	正克	(26)
前田	真	(27)
大瀧	充	(29)
神谷	貞浩	(29)
内村	兼一	(30)
水	八壽裕	(30)
高橋	未明	(31)
佐々木	正大	(32)
野村	香織	(34)
松井	洋子	(34)
小島	昌徳	(34)
浅井	将	(37)
大久保	有香	(40)
澤井	美里	(40)
高橋	智至	(40)
石坂隆史	(大学院)	